

# 令和6年度 事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

社会福祉法人  
多可町社会福祉協議会

## 令和6年度 事業報告

令和6年度は、「第4次地域福祉推進計画（あったかささえあいプラン）」（令和3年度～令和7年度）に基づく取り組みの下期であり、進捗状況の評価・見直しを踏まえ、基本目標「みんなが安心して暮らせるまちづくり」の実現に向け4つの推進目標と5つの活動目標を基に福祉活動を展開いたしました。4つの推進目標の内「きづく」「つながる」「ささえあう」の3点を重点活動と定め、その重要性をさらに地域へ広げるため、活動目標である5つの「ほっとけない」に取り組みました。

地域の中での課題や困りごとに気づき解決していくことを目的に、集落単位では、ふくし防災マップ（宝物マップ）等の集落向け福祉学習を実施し、住民相互の見守り・支え合いをするための話し合いの場の推進に努めました。また、小学校区単位では、地域づくり情報交換会の開催をきっかけに、「生活を考える会」として、居場所づくりや生活を支える仕組みづくりについて継続的に協議を進めました。すでに活動を始めている生活支援活動団体等の連携においては、活動の継続支援を行うと共に、移動販売業者や医療機関を交えての情報交換会を開催し、現況確認を行いました。

ふれあいいいききサロンについては、休止中のサロンへの再立ち上げの呼びかけや新規立ち上げの支援を行いました。

生活困窮者の支援では、「多可町社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット多可）」と連携して、フードドライブ事業に取り組み、住民の皆さまから食品の寄付をいただき、生活に困られている世帯に提供することができました。

介護事業においては、利用者個々のニーズに柔軟に対応し、多様化するケースにも地域住民や関係機関と連携を図ることで、在宅生活を支援することができました。

以下、令和6年度の各事業等について報告します。

## 基本目標 「みんなが安心して暮らせるまちづくり」

多可町社会福祉協議会では、地域福祉の推進を住民のみなさんと一緒に進めるため、基本目標を「みんなが安心して暮らせるまちづくり」と掲げています。

## 推進目標

基本目標を実現するために、4つの推進目標を設定しました。

- 【1】 きづく（重点活動）
- 【2】 つながる（重点活動）
- 【3】 ささえあう（重点活動）
- 【4】 ささえる

## 活動目標

基本目標と推進目標を進めるため、下記の活動目標を設定しました。これを基に福祉活動を展開しました。

- 【活動目標1】 地域づくりをほっとけない！できる助け合いが健康長寿への道
- 【活動目標2】 通院、買い物などの移動に困っている人をほっとけない！
- 【活動目標3】 できないことをほっとけない！  
社会福祉法人や商工会、ボランティア団体などとの連携を図ります
- 【活動目標4】 知らない人をほっとけない！関わりの薄い層への啓発
- 【活動目標5】 ほっとけない！の積み重ね。住民から信頼される職員と組織づくり

## ■福祉学習の推進（推進目標1／きづく）**重点**

福祉に関心を持ってもらい、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、ボランティアや当事者などの協力を得ながら学校で福祉学習を行いました。

また、町内の学校・認定こども園・キッズランド等の福祉学習事業に対して助成を行いました。

《学校での福祉学習の開催》

	小学校	高等学校
今年度実施回数	5校 42回	0回
前年度実施回数	5校 43回	1回

実施団体	実施回数	内容
中町北小学校	8回	ボランティア学習、高齢者疑似体験、車いす体験、手話体験、手話歌学習、点字体験、アイマスク体験、サウンドテーブルテニス体験、朗読体験、知的・発達障がい疑似体験、認知症サポーター養成講座
中町南小学校	9回	
杉原谷小学校	8回	
松井小学校	9回	
八千代小学校	8回	

《学校・認定こども園・キッズランド等への助成》

	助成団体数	助成額
今年度助成実績	16団体	800,000円
前年度助成実績	16団体	780,000円

助成団体	助成額	内容
北はりま特別支援学校	50,000円	プランター寄贈交流等
多可高等学校	50,000円	福祉学習、ボランティア活動、多可高ちいきふれあいプロジェクト、こども園交流
中町中学校	50,000円	北はりま特別支援学校交流会
中町北小学校	50,000円	福祉学習
中町南小学校	50,000円	福祉学習
みどりこども園	50,000円	さつまいも苗植え、さつまいも掘り、やきいも大会、祖父母とのふれあいのつどい、ありがとうの会
あさかこども園	50,000円	祖父母参観と交流会
四恩こども園	50,000円	夏まつり、正月集会等
加美中学校	50,000円	通学路クリーンキャンペーン、能登半島豪雨災害募金活動、ユニセフ募金活動、ペットボトル・キャップ回収運動
杉原谷小学校	50,000円	福祉学習
松井小学校	50,000円	福祉学習、ふれあい弁当包装紙づくり

キッズランドかみ	50,000 円	さつまいもの苗植え、いも掘りと焼きいも、祖父母参観日
八千代中学校	50,000 円	北はりま特別支援学校との交流会、八中コンサート
八千代小学校	50,000 円	福祉学習
キッズランドやちよ	50,000 円	さつまいもつるさし、きつずきらきらふえすていばる(夏祭り)、とんど等
ちびっこランドらくえん	50,000 円	栽培体験、地域の人との交流、高齢者との交流
	800,000 円	

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

## ■生活支援体制整備事業

(推進目標1/きづく、推進目標2/つながる、推進目標3/ささえあう) **重点**

生活の中での課題や困りごとを住民相互の関わり合いの中から解決していくことを目的として、次の活動を行いました。

《集落への支援》

- ・集落での「ふくし防災マップ(宝物マップ)」づくりや福祉学習などの支援をすることをきっかけに、話し合いの場の設置や助け合いを推進しました。さらに、助け合いの必要性をまとめた「つながる“わ”」を社協だより多可に毎月掲載、「つながる“わ”」の特別号を作成し、地域づくりを啓発しました。

《小学校区への支援》

- ・小学校区ごとに生活を考える会を開催し、テーマに沿った話し合いをすることで、活動を促進しました。

《団体・グループへの支援》

- ・生活支援活動団体・グループの活動が継続できるように、情報交換を通してグループ間の助け合いを促進することを目的として、年1回、生活支援活動団体・グループの情報交換会を開催しました。

《地域での活動の実施》

	今年度	前年度
実施回数	57回	34回

実施集落	実施回数	支援内容
中町北小学校区	門前	1回 車いす体験
	安楽田	1回 ふくし防災マップづくり
	牧野	1回 ふくし防災マップづくり
	鍛冶屋	3回 役員会でふくし防災マップづくりの説明、ふくし防災マップづくり、ふくし防災マップの確認
中町南小学校区	安坂	2回 防災研修の打ち合わせ、ふくし防災マップづくりと防災の話
	糶屋	1回 ふくし防災マップづくり

中町南小学校区	曾我井	1回	ふくし防災マップの更新と困りごとの確認
	森本	2回	役員会でふくし防災マップづくりの説明、ふくし防災マップづくり
	中安田	2回	ふくし防災マップの更新と新・助け合い体験ゲーム、防災の話（生活安全課）、アンケートの支援
杉原谷小学校区	西山	2回	防災ゲームクロスロード、ふくし防災マップの更新
	大袋	1回	ふくし防災マップづくり
	三谷	1回	ふくし防災マップづくり
松井小学校区	豊部	5回	地域共生社会づくりに向けた話し合い、今後の進め方の検討、ふくし防災マップの更新（谷ごと）
	熊野部	1回	ふくし防災マップの更新
	的場	—	的場支え合う会の活動
	寺内	—	寺内ささえあう会の活動
八千代小学校区	赤坂	1回	ふくし防災マップづくり
	下三原	—	助け合い活動の検討
	中三原	—	中三原の生活を支える会の活動

《小学校区での活動内容（生活を考える会の開催）》

	回数	内容
中区北・南小学校区	6回	中区の移動支援の検討
		中町北小学校区のイベント・居場所づくりの検討
加美区杉原谷・松井小学校区	2回	草刈り講習会の開催による草刈りの担い手不足等の生活課題の解消や広報誌の作成に関する検討
旧八千代北・南・西小学校区	4回	旧八千代南小学校区の拠点を活用した居場所づくりやコンビニ化の検討
		旧八千代西小学校区の拠点を活用した居場所づくりやコンビニ化の検討

《その他参加したもの》

	回数	内容
ちよいボラグループ やちよお助け隊	3回	スタッフ会議、三役会
たかビスケット	3回	全体会、打ち合わせ
地域共生社会づくり関係 (町)	10回	新しい地域コミュニティ準備委員会、まちづくりフォーラム等
地域共生社会づくり関係 (集落)	4回	中安田井戸端会議、中安田村中まるごと座談会、中村村中まるごと座談会

《小学校区の情報交換会の開催》

回数	校区等	開催日	参加者数	内容
1回目	八千代小学校区	7月6日	22名	講演 講師：さわやか福祉財団 鶴山芳子常務理事 「これからの地域について みんなで話し合おう」 グループワーク 「集落でできないこと、校区でできる こと」「校区でできることをするに はどのような仕組みが必要か？」を 話し合う
	中町北小学校区 中町南小学校区	7月20日	15名	
	杉原谷小学校区 松井小学校区	8月3日	22名	
2回目	八千代小学校区	9月25日	14名	グループワーク 第1回で出た主な意見の中から、グル ープごとに「これに取り組みたい」と いうものを選択し、「それをするには 具体的に誰を対象とするのか、何が必 要なのか」を話し合う
	中町北小学校区 中町南小学校区	10月5日	13名	
	杉原谷小学校区 松井小学校区	10月29日	12名	

《生活支援活動団体・グループの情報交換会の開催》

開催日	参加者数	内容
10月2日	17名	多可赤十字病院や松井庄診療所など送迎をしている医療機関、マッ クスバリュやコープこうべなど移動販売をしている業者等からの 利用状況や課題等の説明と意見交換

財源	町受託金
----	------

■多可町社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット多可）と連携

（推進目標2／つながる、推進目標4／ささえる）

多可町内で福祉事業に取り組む社会福祉法人が高齢・障害・児童等の福祉分野を超えて、情報交  
換や課題共有を行い、誰もが安心して暮らせる地域共生社会を実現するため、多可町社会福祉法人  
連絡協議会（ほっとかへんネット多可）と連携し地域福祉の向上を図りました。

令和6年度は、本会が実施しているフードドライブ事業の周知や食品受け取りなどの協力をし  
ていただくとともに、事業を通してニーズを収集し、他の支援策を検討しました。

内容	開催日	内容
正副会長会	4月4日	令和6年度総会の検討
監査会	4月4日	令和5年度会計監査
総会	4月9日	令和6年度総会
実務担当者会議	5月27日	フードドライブ事業への協力の確認と検討
	10月29日	フードドライブ事業の結果確認と今後の支援策の検討
	1月24日	フードドライブ事業の結果確認と今後の支援策・令和7年 度の事業計画・予算の検討

代表者会議	2月26日	令和6年度事業報告・決算、令和7年度事業計画・予算の検討
-------	-------	------------------------------

財源	多可町社会福祉法人連絡協議会会費
----	------------------

## ■生きがい活動支援通所事業の実施（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）

町からの受託事業として、在宅で生活しているおおむね65歳以上の高齢者が家に閉じこもりがちにならないよう、集落の公民館等で地域介護予防講座やあったか講話を開催しました。

地域介護予防講座では、「いきいき百歳体操」の普及啓発等を行うことによって、心身機能の維持向上や閉じこもりの防止に努めました。

また、年1回、集落の公民館等であったか講話を開催し、災害発生時に起こりうる事態を疑似体験する防災ゲーム「クロスロード」を実施しました。災害時の備えをすることや普段から声のかけ合いが重要で、社会的孤立感の減少や心身機能の維持向上にもつながることを体験していただきました。

開催場所	集落公民館等
------	--------

### 《地域介護予防講座》

今年度実施回数	118回（中区 40回、加美区 44回、八千代区 34回）
前年度実施回数	114回（中区 39回、加美区 43回、八千代区 32回）
今年度参加者数	1,696名（中区 641名、加美区 649名、八千代区 406名）
前年度参加者数	1,691名（中区 678名、加美区 638名、八千代区 375名）

### 《あったか講話》

今年度実施回数	56回（中区 19回、加美区 21回、八千代区 16回）
前年度実施回数	55回（中区 18回、加美区 21回、八千代区 16回）
今年度参加者数	747名（中区 273名、加美区 289名、八千代区 185名）
前年度参加者数	777名（中区 293名、加美区 289名、八千代区 195名）

財源	町受託金
----	------

## ■特別支援学校への支援（推進目標1／きづく）

障がいや特別支援学校について地域の人に知ってもらうため、小学部との交流会にボランティアの派遣を行いました。

内容	開催日	派遣者数
小学部との交流会	11月11日	4名

## ■社協だより多可、たかテレビ等による情報発信（推進目標1／きづく）**重点**

社協だより多可、ホームページは、「見やすく」「分かりやすく」、タイムリーな情報提供ができるよう工夫しました。また、X、Facebook、LINEも利用し情報がより多くの住民に届くよう努めました。

さらに、たかテレビの『あっ！たかインフォ』などを活用し、社協活動を積極的にPRしました。

媒体	今年度発信回数	前年度発信回数
社協だより多可	12回	12回
社協ホームページ	69回	46回
Facebook、X、LINE	424回	324回
たかテレビ「あっ！たかインフォ」	11回	12回

《たかテレビ「あっ！たかインフォ」で放送したもの》

- ・社協ガイド
- ・社協まつり
- ・障がい者スポーツ大会
- ・歳末たすけあい募金
- ・福祉機器・福祉車貸出事業
- ・地域福祉活動助成事業
- ・社協会費
- ・地域づくり情報交換会
- ・赤い羽根共同募金
- ・ボランティア募集
- ・日常生活自立支援事業

財源	社協会費、介護等事業、善意銀行
----	-----------------

### ■社協ガイドの作成（推進目標1／きづく）

社協活動や事業を地域の方に理解してもらうために社協ガイドを作成し、全戸配布しました。また、たかテレビの「あっ！たかインフォ」でも5月に放送し啓発しました。

財源	社協会費
----	------

### ■介護者だよりの発行（推進目標1／きづく）

介護に役立つ情報や介護者の会の活動をお知らせするために「介護者だより」を毎月発行し、町内の介護者に配布しました。

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

### ■社協まつりの開催（推進目標1／きづく、活動目標2／つながる）

福祉についての理解と関心を高め、地域の支え合い・助け合い、福祉のまちづくりについて考える機会とするため、地域住民や各種団体・関係機関等と連携し開催しました。

歌手の木山裕策氏の講演では、ガンを患いながらも諦めず家族や周囲のサポートを受け歌手への夢を叶えたこと、ミニライブでは代表曲「home」など、歌を通して前向きに生きることの大切さを伝えていただきました。

また、福祉学習体験発表では、小学4年生児童が高齢者・障がい者・ボランティアについての学習を通して感じた福祉への気づきを発表してくれました。

屋内・屋外19のブースでは、障がい者事業所や商工会、キッチンカーや団体・グループの協力による福祉体験コーナーや販売ブースで賑わいました。特に、多可高等学校ボランティア部には、より主体的なボランティア活動を担ってもらうため、子どもが楽しめるブースの考案から当日の運営まで積極的に活動していただきました。

開催日	7月27日
開催場所	ベルディーホール

来場者数	約700名
------	-------

財源	赤い羽根共同募金配分金、介護等事業、善意銀行
----	------------------------

## ■バス乗車体験会の開催（推進目標1／きづく）

今後、通院や買い物のための移動手段の一つとして、公共交通機関であるバスの利用に親しんでもらうため、バスの乗車体験会を開催しました。杉原谷小学校区と八千代小学校区の一部の集落を対象として、多可町役場や多可赤十字病院に行く内容を実施しました。

今年度		前年度
開催日	参加者数	参加者数
6月25日	5名	22名
7月2日	14名	

財源	赤い羽根共同募金配分金、参加費
----	-----------------

## ■各種ボランティア養成講座、研修会等の開催（活動目標1／きづく）**重点**

ボランティアの育成やスキルアップ、またボランティア相互の交流を図るために、各種講座や研修会、交流会を開催しました。講座等ではアンケートなどを実施し、ボランティア依頼や次回講座のための参考にしました。

介護予防サポーター養成講座は、集落での元気あっぷ広場など、介護予防のニーズが高まっており、新たなボランティアの育成を目的に実施し、10名が活動につながりました。

また、シニアクラブのアクティブシニア委員、理事、単位クラブ会長・女性部長を対象にボランティア体験を実施し、10名が活動の継続につながりました。

上記以外の講座や研修会を開催し、合わせて延べ35名が新たな活動につながりました。

今年度開催回数／延べ参加人数	7種 32回 延べ 153名参加
前年度開催回数／延べ参加人数	10種 40回 延べ 227名参加

内容	開催日	延べ参加者数	開催場所
点訳ボランティア養成講座	6月15日～ 12月7日 全12回	11名	播磨内陸生活文化総合センター（ドウジアム）
介護予防サポーター養成講座	6月21日	13名	社協本部
ボランティア体験	10月7日～ 12月18日	15名	町内
介助ボランティア養成講座 （車いす介助）	10月11日	11名	社協本部

ボランティア交通安全教室	10月18日	14名	社協本部
リスナーとボランティアのつどい	1月20日	15名	社協本部
ボランティア研修会	2月14日	74名	ベルディーホール

財源	県社協補助金、県社協受託金、善意銀行、参加費
----	------------------------

## ■ボランティアに関する相談・コーディネート・支援 (活動目標1/きづく、活動目標3/ささえあう)

ボランティアセンターにおいて、活動に関する相談の受付、調整、支援を行いました。また、支援を必要とする人と近い集落のボランティアを派遣し、地域づくり活動につなげました。

今年度は、福祉施設からのボランティア派遣依頼が増え、ボランティアの特技や趣味を活かしたコーディネートを行いました。

さらに、社協まつりや障がい者スポーツ大会においては、学生へのより主体的なボランティア活動への参加を進め、社協まつりのアンケートをきっかけとして、新たな活動者が増えました。

活動内容	今年度 事業名(依頼先)	今年度 派遣 回数	今年度 延べ 派遣 人数	前年度 派遣 回数	前年度 延べ 派遣 人数
調理・配送・回収	ふれあい型給食サービス	97回	1,170名	96回	1,092名
交流	障がい者の事業所とボランティアの交流、障がい者とボランティアのつどい、北はりま特別支援学校	29回	85名	29回	95名
訪問	地域見守り訪問	47回	120名	47回	103名
介助	青い鳥学級、グループホーム	10回	13名	2回	6名
託児	健康課、生涯学習課、総務課、福祉課、企画秘書課、社協	7回	16名	9回	27名
運転	外出支援サービス	92回	92名	85回	85名
運転・介助	買い物ツアー、リフレッシュ教室	330回	538名	233回	524名
傾聴	在宅訪問	80回	160名	23回	46名
音訳	朗読CDの貸出	48回	347名	46回	343名
レクリエーション	ふれあいいきいきサロン、障がい者の事業所とボランティアの交流、デイサービスやすらぎ、やすらぎの郷、しあわせ荘、清爽の里、Growing つばめ、いこいの家紫陽花、ひのもと青年寮、集落	244回	389名	69回	133名

認知症サポーター	絆カフェ	12回	27名	9回	18名
行事手伝い	社協まつり、デイサービスやすらぎ夏祭り、障がい者スポーツ大会	5回	61名	2回	20名
補助	学校向け福祉学習、元気あっぷ広場	54回	111名	51回	104名
災害		0回	0名	1回	5名
合計		1,055回	3,129名	702回	2,601名

## ■ふれあいいいききサロン活動の支援

(推進目標1/きづく、推進目標2/つながる) **重点**

地域住民が気軽に集まり、つながりと生きがいを持ちながら互いに助け合い、誰もが地域でいきいきと安心して暮らせることを目指し、サロンスタッフ研修会の開催、レクリエーション遊具の貸出、活動経費の一部助成、サロンに関する各種相談など、サロンへの支援を行い、多くの地域でサロンが開催されるよう努めました。

内容	開催日	参加者数	開催場所
サロンスタッフ研修会	4月13日	28名	加美コミュニティプラザ

	サロン数	実施回数	活動助成件数
今年度実績	45地区	407回	45件
前年度実績	43地区	315回	43件

財源	社協会費
----	------

## ■あったかわくわくスタッフ支援事業の開催

(推進目標1/きづく、推進目標2/つながる) **重点**

集落でのつどいの場を広げていくことを目的として、小規模な集まりを企画、実施する立場にある方(ふれあいいいききサロンのスタッフ、元気あっぷ広場スタッフ等)を対象に、高齢者向けのレクリエーションについて学ぶための研修会を開催しました。また、サロンスタッフ等が気軽に情報共有のできる機会として、年3回スタッフサロンを開催しました。

内容	開催日	参加者数	開催場所
研修会	9月13日	28名	社協本部
スタッフサロン	4月13日	1名	加美コミュニティプラザ
	8月21日	10名	社協本部
	12月18日	6名	社協本部

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

## ■障がい者の事業所とボランティアの交流（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）

町内の事業所や多可町作業所連絡会を対象に助成しました。ボランティアや講師を派遣し、交流を通して障がいや事業所への理解を地域に深めました。

	今年度 助成額	今年度 実施回数	前年度 助成額	前年度 実施回数
一般社団法人S-CUBE	60,000円	11回	60,000円	11回
NPO法人みどり会	30,000円	5回	30,000円	4回
NPO法人やちよ	60,000円	10回	57,935円	10回
多可町作業所連絡会	100,000円	1回	100,000円	1回

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

## ■ハートフルツアーの開催（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）

身体・知的・精神障がい者を対象に、社会参加や親睦・交流を図ることを目的として、明石市立天文科学館のプラネタリウム鑑賞などをしました。

開催日	12月11日
参加者数	32名

財源	歳末たすけあい募金配分金、参加費
----	------------------

## ■子育て応援クリスマスプレゼント事業の実施（推進目標3／ささえあう）

多可町の提唱する「子育てするなら多可町」を推し進め、子育て世帯のリフレッシュを目的に、新生児の生まれた世帯に対しクリスマスプレゼントを配布しました。

	配布帯数
今年度実績	35世帯
前年度実績	47世帯

財源	歳末たすけあい募金配分金
----	--------------

## ■視覚障がい者への支援（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）

視覚障がい者の情報保障として、社協だより多可、広報たか、議会だよりなどを音訳CDへ吹き込み、視覚障がいのある希望者へ毎月届けました。また、多可町図書館にも貸出用として設置し、希望者への貸し出しを行いました。

音訳CDを聞いているリスナーと朗読ボランティアの交流会を年1回実施し、内容についての要望を確認することにより、希望する情報を提供しました。

	利用者数	延べ発送件数
今年度実績	9名	90件
前年度実績	10名	90件

### ■障がい者スポーツ大会の開催（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）

町からの受託事業として、身体・知的・精神障がい者が、お互いの交流と親睦を深め、障がいの社会参加意欲の高揚と体力の維持増進を図ることによって、障がいの自立更生に寄与するとともに、スポーツを通じ住民の障がい者に対する理解と認識を深め、ともに生きる地域社会づくりを目指すことを目的として開催しました。

開催日	10月26日
開催場所	アスパル
参加者数	82名

財源	町受託金
----	------

### ■福祉団体の事務および活動支援（推進目標2／つながる）

シニアクラブ連合会や身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、遺族会、ボランティア連絡会、介護者の会の事務局として、各種団体の運営・活動支援を行いました。

	今年度会員数
シニアクラブ連合会	2,681名
身体障害者福祉協会	284名
手をつなぐ育成会	41名
遺族会	465名
ボランティア連絡会	472名
介護者の会	13名

### ■地域見守り訪問事業の推進（推進目標1／きづく、推進目標3／ささえあう）

敬老の日発祥の町多可町として敬老の精神を広めるために、80歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、ボランティアや地域福祉推進委員が誕生月に訪問し、健康と長寿のお祝いに花を届けました。また、必要に応じて、日常生活の中での不安や困りごとなどを聞き取り、適切なサービスや関係機関につなげました。

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度訪問者数	131名	58名	53名	242名
前年度訪問者数	136名	61名	52名	249名

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

### ■地域福祉活動助成事業の推進（推進目標3／ささえあう）

町内の地域福祉の推進を図ることを目的とした団体・グループに助成を行うことで、住民主体の地域福祉活動の充実・活性化を図り、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めました。また、助成団体の活動内容を社協だより多可やたかテレビで紹介し、活動の支援や周知を図りました。

	団体数	助成額
今年度実績数	11団体	370,000円
前年度実績数	9団体	320,265円

助成団体	助成額
NPO法人北播磨ラベンダーアロマ部「さとやまの風」	30,000円
ちょいボラグループ やちよお助け隊	50,000円
チームオレンジたか	40,000円
もえぎ倶楽部	30,000円
たか手話サークル	50,000円
たかビスケツト	20,000円
多可町仲良し親子のドリームプロジェクト	20,000円
西脇点訳友の会	30,000円
みねぶりコーラス	20,000円
多可町介護者の会	30,000円
子ども食堂ココメグキッチン	50,000円

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

### ■福祉機器貸出事業の実施（推進目標4／ささええる）

在宅で介護を要する人を対象に、福祉機器を無料で貸し出し、在宅での療養生活の利便を図りました。ただし、要介護認定を受けられた場合は介護保険サービス、身体障害者手帳を取得された場合は、日常生活用具給付事業及び補装具費支給事業を優先しました。

貸出品名	車いす・スロープ
貸出最長期間	6ヶ月間

	車いす	スロープ
今年度貸出件数	98件	19件
前年度貸出件数	99件	19件

財源	社協会費
----	------

## ■福祉車両貸出事業の実施（推進目標4／ささえる）

車いすやストレッチャーを使用しないと外出できず、かつ家庭において運転ができる家族がある人を対象に、福祉車を貸し出し、医療・保健・福祉等の利用の便を図りました。

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度登録者数	15名	23名	9名	47名
前年度登録者数	14名	15名	12名	41名
今年度利用件数（町内）	50件	56件	8件	114件
前年度利用件数（町内）	31件	71件	18件	120件
今年度利用件数（町外）	15件	17件	5件	37件
前年度利用件数（町外）	14件	41件	9件	64件

財源	社協会費
----	------

## ■ふれあい型給食サービス事業の実施（推進目標4／ささえる）

見守りが必要で調理が困難なおおむね65歳以上の高齢者のみの世帯等を対象に、ボランティアが調理した給食を届けました。民生委員児童委員や地域包括支援センターなどと連携を図るとともに、見守りシートの回収を通して、利用者の健康状態や不安の把握など見守り活動を促進しました。見守りシート回収のボランティア活動をより身近な方が活動することで、些細な変化に気づくことができるよう目指しています。

	中区	加美区	八千代区
調理場所	アスパル	交流会館	八千代プラザ
実施日	毎週木曜日		
利用料／食	200円		
今年度実施回数	49回		
前年度実施回数	49回		

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度登録者数	62名	22名	29名	113名
前年度登録者数	51名	34名	28名	113名
今年度配食数	1,893食	783食	847食	3,523食
前年度配食数	1,740食	872食	1,015食	3,627食
今年度平均配食数	38.6食/回	16.0食/回	17.3食/回	71.9食/回
前年度平均配食数	35.5食/回	17.8食/回	20.7食/回	74.0食/回
今年度調理ボランティア数	87名	84名	73名	244名
前年度調理ボランティア数	92名	78名	81名	251名
今年度配送・回収ボランティア数	401名	185名	340名	926名

前年度配送・回収ボランティア数	268名	175名	398名	841名
-----------------	------	------	------	------

財源	赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分金、利用料
----	---------------------------

### ■買い物ツアー事業の実施（推進目標4／ささえる）

外出しにくい、おおむね75歳以上の高齢者のみの世帯を対象に、区ごとに月2回ずつ町内での買い物のための送迎と介助を行いました。

	中区	加美区	八千代区
実施日	毎月第1・3火・水曜日	毎月第2・4火・水曜日	毎月第2・4火・水曜日

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度実施回数	70回	47回	46回	163回
前年度実施回数	67回	48回	46回	161回
今年度登録者数	18名	10名	11名	39名
前年度登録者数	16名	12名	12名	40名
今年度利用者数	192名	155名	154名	501名
前年度利用者数	230名	179名	143名	552名
今年度ボランティア数	142名	115名	91名	348名
前年度ボランティア数	133名	140名	91名	364名

財源	赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分金
----	-----------------------

### ■無料法律相談の実施（推進目標4／ささえる）

年12回、弁護士による無料法律相談を開催しました。また、年3回、町内有識者の協力を得て、家事関係の悩み相談を開催しました。

	無料法律相談	調停等手続き相談
開設月	毎月第4火曜日	7月、11月、3月（第1木曜日）
開設時間	午後1時～3時（1人30分）	午前10時～12時（1人30分）
開設場所	社協本部	社協本部

	無料法律相談	家事関係の悩み相談
今年度利用者数	33名	2名
前年度利用者数	34名	5名

財源	善意銀行
----	------

## ■外出支援サービス事業の実施（推進目標4／ささえる）

町からの受託事業として、おおむね65歳以上の高齢者のみの世帯で、家族に車の運転できる人がなく、一般の交通機関を利用することが困難な人や下肢が不自由な人、視覚障がい者を対象に、医療機関等への送迎サービスを行い、在宅福祉の向上を図りました。

	中区	加美区	八千代区	視覚障がい者	合計
今年度登録者数	7名	5名	3名	3名	18名
前年度登録者数	8名	7名	2名	3名	20名

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度利用件数（町内）	90件	11件	34件	135件
前年度利用件数（町内）	132件	11件	29件	172件
今年度利用件数（町外）	272件	0件	5件	277件
前年度利用件数（町外）	360件	7件	6件	373件

財源	町受託金、利用料
----	----------

## ■多可赤十字病院への支援（推進目標4／ささえる）

多可赤十字病院からの受託事業として、リフレッシュ教室の送迎と介助の支援を行いました。

	送迎回数	ボランティア数	介助回数	ボランティア数
今年度	143回	143名	24回	47名
前年度	114回	114名	24回	46名

財源	日赤受託金
----	-------

## ■資金貸付事業の実施（推進目標4／ささえる）

生活問題を抱える世帯への援助として資金を貸し付け、世帯の生活の安定と向上を図りました。生活福祉資金は県社協の受託事業として、また、法外援護資金は多可町社協独自の貸付事業として実施し、民生委員児童委員と連携しながら実施しました。

### 《生活福祉資金・法外援護資金共通》

今年度相談件数	113件
前年度相談件数	84件

### 《生活福祉資金》

	通常貸付	新型コロナ特例貸付
今年度貸付決定件数／合計貸付件数	0件／25件	令和4年9月末で終了
今年度償還完了数	1件	8件、免除31件

前年度貸付決定件数／合計貸付件数	3件／26件	令和4年9月末で終了
前年度償還完了数	1件	1件、免除26件

財源	県社協補助金、県社協受託金
----	---------------

《法外援護資金》

今年度貸付決定件数／合計貸付件数	0件／4件
今年度償還完了数	0件
前年度貸付決定件数／合計貸付件数	0件／4件
前年度償還完了	0件

財源	償還金、善意銀行
----	----------

■一時的食糧等給付事業（推進目標4／ささえる）

今年度の利用はありませんでしたが、一時的に経済的困窮に陥った生活困窮者への支援として食糧等の生活に必要な物資の給付を行い、その世帯の自立を促し円滑な社会生活が送れるよう支援します。多可町社協独自の事業として、民生委員児童委員と連携しながら実施しています。

	今年度	前年度
相談件数	0件	0件

財源	善意銀行
----	------

■生活困窮者支援体制強化事業（推進目標1／きづく、推進目標4／ささえる）**重点**

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金特例貸付の償還期間内において、生活困窮状態が続く借受世帯等が、安心して暮らすために必要な支援と地域内のセーフティネットを充実させることで、社会的孤立・排除の解消・予防を図ることを目的として行いました。

具体的には、借受世帯や困窮世帯等への相談支援や情報提供、就労先の紹介やフードドライブ事業の実施等を行っています。フードドライブ事業を利用された方には、聞き取りを行い生活課題の確認をしています。また、関係機関との打ち合わせ会を開催し、生活課題の実態把握や地域における協働した取り組みを行いました。

	給付者数	食品提供者数
1回目（4月）	14世帯30名	町から提供
2回目（6～7月）	33世帯61名	20名
3回目（11～12月）	57世帯107名	49名
臨時の支援	5世帯6名	4名

財源	県社協補助金
----	--------

## ■日常生活自立支援事業の推進（推進目標4／ささえる）

県社協からの受託事業として、認知症高齢者や知的障がい者など判断能力が十分でない人を対象に、住み慣れた地域で安心して自立生活が送れるよう、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などの援助を行いました。事業が地域により浸透するよう、サービス内容の周知のため社協だよりに掲載、たかテレビ「あっ！たかインフォ」でも放送しました。

また、行政担当課との制度に関する情報共有や、北はりま成年後見支援センターとの連携も進めました。

利用料／時間	1,400円（交通費は実費負担）
--------	------------------

	今年度	前年度
相談件数	140件	141件
契約者数	3名	4名
解約者数	2名	0名
派遣回数	57回	54回

財源	県社協受託金、利用料
----	------------

## ■ふとん丸洗いサービス事業の実施（推進目標4／ささえる）

布団が干しづらく、在宅で生活されている75歳以上の高齢者のみの世帯の要介護認定「要介護1～4」の方、要介護認定「要介護5」の方、身体障害者福祉手帳「1級」の方、家族介護用品給付事業で「おむつ」を申請されている方を対象に、利用者が使用している布団の丸洗いを行い、快適で衛生的な生活を支援しました。

利用者一人につき掛布団・敷布団・掛毛布・敷毛布をそれぞれ1枚ずつ、補助は1人7,975円までとし、超えた額は個人負担として行いました。

	回収日	返却日
実施日	6月3日、6月5日	6月17日、6月19日

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度利用者数	9名	8名	5名	22名
前年度利用者数	10名	6名	5名	21名
今年度平均利用額	—	—	—	7,187円
前年度平均利用額	—	—	—	6,081円

財源	社協会費
----	------

## ■歳末見舞金事業（推進目標4／ささえる）

歳末たすけあい募金を行い、要援護世帯や認知症の方など、新たな年を迎える時期に支援を必要とする方に見舞金を贈りました。民生委員児童委員協議会の協力を得ながら実施しました。

《個人》

		中区	加美区	八千代区	合計額
A	生保受給世帯	18世帯	6世帯	2世帯	130,000円
B	準生保世帯	9世帯	11世帯	10世帯	186,000円
C	高齢者独居	51世帯	40世帯	30世帯	605,000円
D	高齢者世帯	18世帯	2世帯	2世帯	110,000円
E	母子世帯	9世帯	3世帯	3世帯	75,000円
F	父子世帯	1世帯	0世帯	1世帯	10,000円
G	寝たきり（在宅）	1世帯	1世帯	0世帯	10,000円
H	重度障がい者（在宅）	5世帯	4世帯	0世帯	45,000円
I	認知症（在宅）	0世帯	4世帯	0世帯	20,000円
合計		112世帯	71世帯	48世帯	1,191,000円

《施設》

施設名		合計額
NPO法人	あきら多可	50,000円
	すまいる	50,000円
	Cambio	50,000円
	みどり会	50,000円
	ネクスト	50,000円
	やちよ	50,000円
	Esporte	50,000円
合計		350,000円

財源	歳末たすけあい募金配分金
----	--------------

## ■児童安全対策事業（推進目標4／ささえる）

子どもたちの健全な育成を願い、これからの生活をより安全に過ごしてもらうことを目的として、新小学一年生にヘルメットを寄贈しました。

寄贈数	今年度	前年度
	93名	88名

財源	善意銀行
----	------

■介護事業（推進目標4／ささえる）

事業所名	事業内容		今年度	前年度
居宅介護支援事業 （ケアプラン）	ケアプラン件数		1,574件	1,911件
	介護予防プラン件数		183件	245件
	認定調査件数		74件	80件
	実態把握件数		77件	74件
	認知症相談センター相談件数		24件	26件
	認知症初期集中支援チーム参加回数		11回	11回
通所介護事業 （デイサービス）	稼働日数		309日	309日
	延べ利用者数	要介護	7,002名	6,491名
		要支援等	827名	605名
	1日あたり利用者数		25.3名	23.0名
転倒予防教室		46回	48回	
生きがい活動支援通所事業	延べ利用者数		278名	267名
毎日配食事業	延べ配食数／利用者数		98食/2名	99食/1名
生きがい発揮事業（ふれあい事業）	延べ利用者数／回数		95名/4回	100名/4回
訪問介護事業 （ホームヘルパー）	訪問介護回数	要介護	8,782回	8,260回
		要支援	199回	209回
	訪問入浴回数		111回	110回
	障害サービス回数	居宅	1,906回	1,996回
		移動	84回	108回
		同行（ガイド）	92回	96回
	軽度生活支援回数		49回	96回
	子育て世帯訪問支援回数		55回	53回
産前産後ヘルパー派遣回数		48回	36回	
認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	入居率（入居者数／日）		8.5名	8.8名
	グループホーム運営推進会議		6回	6回

グループホームにおいては退去者が3名あり、いずれもスムーズに入居が決まりました。居宅介護支援事業は、新規利用はあるものの、入院、死亡、施設入所が多く利用者増加につながっていません。訪問介護事業は、障害サービスから介護保険サービスへの移行が1名ありました。訪問回数は増加していますが、身体介護の短時間利用の割合が増えています。通所介護事業は、順調に利用者が増えています。

介護事業課ではBCP（業務継続計画）を策定しました。

## ■地域福祉推進委員会の機能強化（組織強化）

住民が主体となり、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地域福祉推進委員会の開催を支援しました。地域福祉推進委員は、住民の代表で構成されています。

会議名	開催回数	開催日と内容
合同会議	1回	6月14日 研修会と「委員が感じる多可町の課題」をテーマにグループワーク
中支部地域福祉推進委員会	3回	8月8日、11月26日、2月17日 前任期の報告、活動テーマと取材方法の検討 テーマ「困った時の“みちしるべ”」
加美支部地域福祉推進委員会	6回	4月30日、7月9日、9月2日、11月13日、1月22日、3月24日 発達障がい啓発冊子「虹のかけ橋」の内容や配布先の確認、前任期の報告、地域見守り訪問や活動テーマ、ふれあいいきいきサロンの啓発に向けての検討 テーマ「サロンの取材・啓発」
八千代支部地域福祉推進委員会	3回	7月22日、11月27日、3月24日 前任期の報告、活動テーマや地域見守り訪問での困りごとの検討 テーマ「高齢者の困りごと」

財源	社協会費
----	------

## ■災害救援マニュアルの推進（組織強化）

町内において地震、風水害その他の災害が発生した時に、災害救援活動を効果的、かつ円滑に実施できるよう検討を行い、改訂しました。

## ■職員会議の開催（組織強化）

定期的に職員会議を開催し、職員間での情報共有を図り、社協活動のスムーズな運営体制を築きました。

## ■職場内外研修会の実施と参加（組織強化）

職場内では、勉強会を実施し、職員の資質向上に努めました。

職場外では、会議や研修会に積極的に参加し、職員のスキルアップと他市町とのネットワークづくりに努めました。

## ■関係機関との連携強化、情報共有（組織強化） **重点**

情報共有による効率的な事業展開を図るため、関係機関との連携強化、情報の発信と受信、定期的な連絡・調整会議を開催しました。多可町地域共生推進協議会、地域ケア会議やケース検討会などの専門機関会議へ参加しました。

## ■社協会員への協力依頼（組織強化）

一般会員・賛助会員・団体会員で組織された会員制度を広く周知し、会員加入の促進を図りました。

	今年度	前年度
一般会費	5,413,500円	5,506,000円
賛助会費	246,000円	238,000円
団体会費	80,000円	80,000円
合計	5,739,500円	5,824,000円

## ■財源確保と情報公開（組織強化）

多様性に富んだ福祉事業を展開するため、社協だより多可やチラシなどで会費・共同募金等の啓発活動を行いました。共同募金配分金や善意銀行預託金の有効活用の検討を行い、使途の明確化を図りました。受託事業については、事業に見合う適正な委託金を行政へ要望し、介護事業収入については、町全域への介護事業の展開を図りました。

### ・善意銀行（組織強化）

	今年度	前年度
金銭預託件数／金額	95件/1,302,209円	106件/1,417,299円
物品預託件数／内容	0件	0件

## ■理事会・評議員会等の開催と研修会の実施（組織強化）

- ・理事会 3回（6月5日、12月9日、3月10日）
- ・評議員会 3回（6月20日、12月17日、3月21日）
- ・正副会長会 6回（4月13日、5月29日、7月29日、9月25日、12月3日、3月5日）
- ・評議員選任・解任委員会 1回（6月7日）

## ■その他

- ・令和6年能登半島地震にかかる近畿ブロック府県社協からの職員派遣  
派遣期間 4月13日～19日（7日間）  
派遣人数 地域福祉課職員1名  
派遣先 石川県七尾市社会福祉協議会（七尾市災害ボランティアセンター）  
活動内容 ボランティアセンターの運営支援
- ・介護支援専門員実務研修の受け入れ・・・1名（4/1～4/19）